中南米日系高校生との交流について

令和５年７月６日（木）に、JICA 日系社会次世代育成研修にて来日中のメキシコ・ドミニカ共和国・ベネズエラの高校生と交流を行いました。スペイン語の多様性や中南米の日系人の暮らしなど学ぶ機会にしたいと考え、今回初めて企画したイベントです。

交流に先立ち、JICA 海外移住資料館を訪問し、日本人の海外移住の歴史および移住者と日系人の現在について丁寧に説明いただきました。その後、日系高校生と合流し、家族のこと、それぞれの国のこと、語学の勉強のことなど、スペイン語と日本語を交えて会話をしたり、ゲームをしたりして、短時間でしたが充実した交流ができました。以下は、参加した生徒の感想です。

- 交流した高校生の方々は日本語が上手な方ばかりですごいなと思った。中には４年ほどしか日本語を勉強していないのにも関わらずペラペラな方がいた。私もスペイン語の勉強を今までよりも頑張りたいと思った。
- 私はスペイン語をまだ上手に話せなかったが、相手の子たちが私の言いたいことを汲み取ってくれて、会話を成立できたのに加えて、まだ知らなったスペイン語の表現を学ぶことができた。また、私は移民資料館や日系の方との交流を通して、やはり多様性は大昔から始まっていたことを学んだ。戦前から南米の方と日本人の混血は進んでいて、現在に至っている。それと同時に日本はもっと多様性を受け入れるべきだと考えた。

（スペイン語担当　　白石　恵子）

¡Nos vemos pronto!（また会おうね！）

日系高校生たちが日本を離れる日にビデオメッセージを送りました。